

令和3年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	交通児童館
所在地	豊橋市向山町字池下35番地
指定管理者	豊橋市交通児童館共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日
担当課	こども未来部こども未来館(0532-21-5526)
令和2年度指定管理料(決算)	25,926千円
令和3年度指定管理料(決算見込)	26,630千円

項目	基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。 仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。 概ね事業計画通り行われており、四季のまつり、子どもボランティア活動、交通安全教室、中高生向けプログラム、各種教室等、幅広い年代の子どもたちが楽しめる様々なイベント等を企画し、設置目的に沿った事業が実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。 仕様書等で定めた人員配置がなされ、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。 事業計画書に基づき、児童館職員としての接遇・マナー研修等のスキルアップに繋がる研修や消防訓練等の安全管理・危機管理の取組が行われている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。 協定書の個人情報保護規定に基づき、適正に個人情報が管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。 危機管理マニュアル、非常時の連絡体制が整備され、避難訓練等も実施されていることから、十分な取組が行われている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。 規則・要綱に則し適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和2・3年度を比較)				
		開館日数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R3-R2)
		利用者数				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。 ・春休み、夏休みの全日開館を実施した。 ・HPのほか、小学校児童へのチラシの配布やスーパーでの掲示、ラジオでのPR等により、施設や企画のPR等を積極的に行った。 ・SDGsをテーマとした新しい視点のイベントを企画するなど、新鮮さを感じられる施設運営に取り組んだ。 ・夏休み期間に開館時間を延長し、ナイト卓球デイを実施し、中高生の利用促進に取り組んだ。 ・コロナ禍においても、利用制限を設けながら、工夫してサービス水準の維持、向上に取り組んだ。				
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく) 利用者アンケート(施設利用満足度) 実施対象：一般利用者 実施時期：令和3年8月・令和4年2月 実施方法：記入式で実施 サンプル数：200人 大変満足56.0% ほぼ満足43.5% やや不満0.5% 大変不満0% 合計100% ・アンケート結果を分析すると、大変満足・ほぼ満足という回答が99.5%あり、利用者の満足度は高いものと考えられる。これは、安全、安心な施設運営のもと、利用者が楽しめる取組を実践したためだと思われるので、今後も継続したい。					

		内容	対応			
意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	1~3歳未満も乗れる乗り物をもっと増やしてほしい。	新しい乗り物を購入した。			
		月1回の工作は低学年向けのももあると良い。	作り図を渡して、小さな子どもでもできるようにした。			
		工作や講座、イベントなど楽しい	—			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切・迅速に対応している。(こどもの利用者のケガに対し、応急処置と当番医を案内)				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	新型コロナウイルスの影響による増減は見られるが、概ね計画どおりの収支となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	26,630千円	指定管理事業費	28,874千円
			利用料金収入	0千円		
			自主事業収入	23千円		
			その他収入	1,112千円		
収支差額			-1,109千円			

指定管理者の自己評価	<p>昨年度に続き、検温・消毒の徹底、館内利用時間の制限を設けて開館しました。延べ利用者数は約18万人で、コロナ禍以前と比べ大きく落ち込む結果となりました。児童館からのクラスター等もなく無事開館を維持できたことは、日頃からの声掛けなど職員一丸となって取り組んだ感染対策や来館者の方々がマナーを守ってくださっているお陰と感じています。</p> <p>維持管理業務については仕様書に則り適切に遂行しました。遊具についても日常の安全点検の中で不具合を見つけ修繕につなげてきました。緊急の案件についても適切に対応しました。</p> <p>収支については児童館まつりをはじめ主要なイベントは全て実施し、熱中症対応・イベント開催とコロナ対応の両立を図る関係で非常勤職員の稼働が増えました。また燃料費高騰の影響で電気料金が増加し、人件費と光熱水費(電気)がそれぞれ予算を超える結果となりました。</p> <p>4月から図書室に開設された児童クラブについては、円滑な受け入れとともに施設利用面でも連携して参りました。</p>
------------	--

総合評価	<p>施設管理面では、仕様書に基づく点検や清掃、必要な修繕は確実に実施され、施設の危険個所の発見や修繕など、迅速に対応し、きめ細かく利用者の安全への配慮がなされていた。また、感染症対策においても、市の方針を理解のうえ、状況に応じた柔軟な対応ができていた。</p> <p>利用者サービス面では、運営方法を工夫することで、コロナ禍においても新しいイベントを積極的に企画したほか、中高生の利用を促進する取組など、幅広い年代の子どもたちが楽しめ、学ぶことができる施設として、サービス水準の維持、向上に取り組まれていた。</p> <p>これらの取組が利用者の減少の抑制や満足度の高い評価の結果に表れたものと認識しており、指定管理者のメリットである自由な発想やノウハウが十分に生かされたものと評価している。</p>
------	---